

## 第4回 東京都教員育成協議会 会議要旨

- 1 日時 平成29年10月4日（水）午後3時から午後5時
- 2 会場 東京都庁第二本庁舎10階 210・211会議室
- 3 出席者 出張委員（委員長）、増淵委員（副委員長）、佐々木委員（代理）、森山委員、高橋委員、藤井委員、小林委員、矢下委員、坂田委員、山下委員、野村委員、上原委員、竹村委員、朝日委員、早川委員、江藤委員、大和委員

### 4 議事内容

#### （1）東京都教職課程カリキュラムについて

- ・本カリキュラムの趣旨として「教員養成段階の学生が身に付けるべき『最小限必要な資質・能力』を示した」ことを確実に伝えていく必要がある。
- ・本カリキュラムの策定は、東京都教育委員会として重要視している内容を示すことに意義がある。
- ・中学校及び高等学校において若手教員が増えていくと予想されるので、各校種で必要となる資質・能力を示している点は各校で活用しやすい。
- ・教育実習評価票は、現在小学校の教育実習の際に実施するものとして示したものであるが、中学校や高等学校などの教育実習における活用について検討していく必要がある。

#### （2）教員研修計画について

- ・1～3年目の教諭の学習指導力向上のためには、教材研究が重要な役割であるため、研修計画については、教材研究の具体的な姿として現在の3項目を示している。
- ・職員番号を付与されている人はいつでも教職員研修センターのホームページから「マイ・キャリア・ノート」にログインできるため、本研修計画を掲載し、活用を促進していく。
- ・本研修計画では、指標と関連させて求められる能力や役割を明記してあり、教員が見通しをもってキャリアプランを考えることができる。
- ・教育研究員や研究開発委員会など、本研修計画には示されているため、これらを見た教員が意欲を高めて研修に参加していくことが期待される。
- ・OJT、Off-JT、自己啓発を示しているのがよい。特に、研究推進団体や東京都教育委員会の研究指定校一覧が示されているのは、これまでにない形で資質・能力を向上させる方策となっている。
- ・教員自身の自己肯定感を高める必要があるため、これらの研修によって、どのような教員になるのかということ言葉を示すなどの工夫があるとよい。
- ・本研修計画は、教員一人一人ができるところから取り組み、自分の得意分野を広げ、伸ばしていくことができるといった活用を期待する。